

運営推進会議議事録

令和7年9月18日 作成者: 青木瞳

事業所	早稲田イーライフ多摩貝取		
開催日時	令和7年3月18日(木曜日)		
開催場所	早稲田イーライフ多摩貝取施設		
出席者	利用者代表	KY様	
	地域の代表者	MN様 SM様	
	北部地域包括支援センター 愛宕支所	TM様	
	施設職員	EA	生活相談員・介護職員
	施設職員	SH	機能訓練指導員
	施設職員	HA	生活相談員
司会進行	施設職員	TA	管理者・生活相談員
議事録作成	施設職員	HA	生活相談員

運営会社・運営施設概要について

運営企業

株式会社アドバンスコーポレーション

本社 : 多摩市和田

設立 : 平成28年7月

事業理念

- ・地域社会への貢献(地域のインフラを目指します)
- ・働く人が、やりがいを持って楽しく働く場所の創造

運営施設

早稲田イーライフ多摩貝取(他イーライフさがみ)

介護予防特化型デイサービス

早稲田イーライフFC: 全国に114施設

運営方針

早稲田イーライフ多摩貝取は、ご利用いただく皆様が明るく元気で自立した生活を営むことができるよう、日常生活に必要な筋力や基礎体力を維持する為の、お手伝いをいたします

サービス内容

介護予防特化型デイサービス

運営状況

利用契約者(9月1日時点) 63名(半年前と比較し3名増加 利用率5%増加)

※前回3月より利用者が減少傾向でしたが、9月に入ってから見学者が増加中

年代別利用者数

90代	18名
80代	32名
70代	13名
60代	0名
平均	84.8歳

※半年間とほぼ変化なし

性別

男性	19名 (30.0%)
女性	44名 (70.0%)

介護認定別ご利用者数

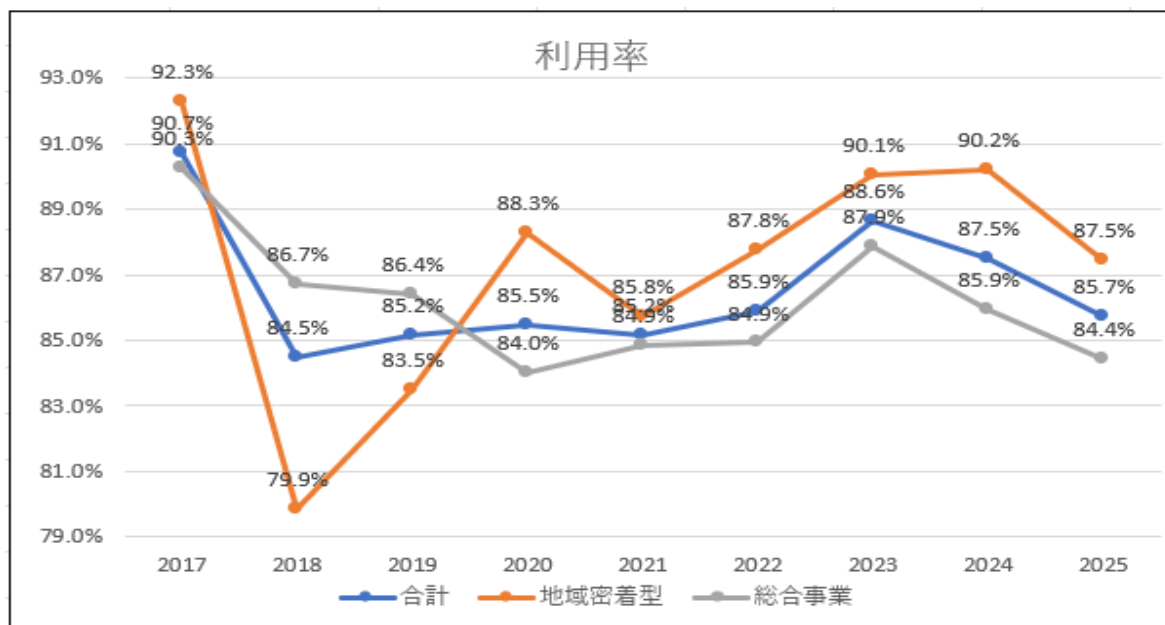
要介護5	1名
要介護4	0名
要介護3	3名
要介護2	10名
要介護1	14名
要支援2	14名
要支援1	11名
事業対象者	10名

総合事業 55.6%

地域密着 44.4%

※半年前に比べ要支援者が減った

利用率の推移



※地域密着型(要介護)の利用割合が上がってきている傾向がある

※総合事業(要支援)の利用が減少傾向にある

※2025年は9月以降は平均値で概算計算

ヒヤリハット

半年間(R7.3~R7.9)

年月	件数	主な内容
令和7年4月	2	施設内でのつまづき、めまいによるふらつき
令和7年7月	1	施設内でのふらつき

※つまづきのあった箇所では黄色のテープを貼って目立たせたり、つまづきやすい方は必ず施設内の移動時スタッフが付くなどして対策しております。今後も細心の注意を払って対応してまいります。

事故報告はなし

年月	件数	主な内容
令和2年8月	1	手指消毒アルコール噴霧が目に入った
令和7年6月	1	お迎え時自宅マンション廊下にて額を強打。裂傷。ご主人が救急車を呼び救急搬送。5針縫合。

※送迎車が到着する場所まで出てきてくださる方が多く、今回はスタッフが到着した時にはすでにマンション廊下の壁に額をぶつけておりました。玄関まで迎えに行くのでお一人で外に出てこれないよう注意喚起をいたしました。

ご利用者住所(地域別)

※包括支援センターエリア区分け

北部地域	16名	一ノ宮、関戸、愛宕、貝取1、豊ヶ丘1
西部地域	7名	和田、東寺方
東部地域	7名	諏訪、聖ヶ丘、馬引沢
中部地域	13名	豊ヶ丘、永山、貝取
多摩センター地域	20名	落合、鶴牧、唐木田、中沢

※地域により利用者の傾向は変わらない

職員の変更・資格の取得状況

生活相談員	4名	※内、介護福祉士3名
介護福祉士	3名	
柔道整復師	1名	
実務者研修受講修了	4名	※来年度1名が介護福祉士受験予定
認知症基礎研修終了	2名	

※現職員は認知症に関する研修受講済み

質疑・ご意見

【北部地域包括支援センター 愛宕支所 TM様】

介護予防はどんどん発展していったほしい。今日来ていたSM様のように、「元気になって卒業」は理想の形ですね。そして卒業後に社会参加されることは生きる希望にもなっていくのでこれからもイーライフさんに頑張ってほしいです。

【ご利用者KA様】

自宅で1人でのいる時間が長いので、ここに週2回通えているおかげで身体も心も元気でいられる。脊柱管狭窄症に悩まされていたが、通っていくうちに良くなってきた。習った体操は家でも毎日やっています。仲良しの方とよく話し、みんなで大笑いをすることでリフレッシュにもなっている。

【地域の方SM様】

元々イーライフに通っていましたが、元気になって認定が下りなかったもので、今は多摩ボランティアセンターに登録してボランティアスタッフとして通っています。通い始めた頃は、歩くのがやっとでしたが、通って運動を続けたことでなんと山登りができるようになりました。こういった施設が増え、私みたいになります元気にしたい！という高齢者もどんどん通えるようにしてほしい。

会議を終えて

高齢化が進み、介護や健康に対する関心がますます高まるなか、私たちのデイサービスには、地域の中で果たすべき役割がこれまで以上に求められていると感じています。利用者の皆様が「ここに来るのが楽しみ」と思っただけのよう、安全で安心な環境を整えるとともに、一人ひとりの状態や目標に合わせた運動支援や関わりを大切に、日々の暮らしがより豊かになるよう努めております。また、ご本人だけでなくご家族の支えにもなれるよう、情報共有やご相談の機会を大切にしながら、地域全体で高齢者の健康づくりを支える視点を持って取り組んでおります。

今後も早稲田イーライフ多摩貝取、早稲田イーライフさがみの両施設が、地域に根ざした信頼される場所であり続けられるよう、スタッフ一同、誠心誠意努めてまいります。引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

次回運営会議開催予定
令和8年3月

以上